

戒厳令 (1973)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 111分
初公開日 1973/07/07

【解説】

別役実の脚本を吉田喜重が監督し映画化。北一輝の思想が大きな広がりを見せ、ついには一輝自身はその思想に押しつぶされてしまう。長谷川元吉の撮影、一柳慧の音楽が強く印象に残る。

北一輝の著書「日本改造法案」に影響を受けた朝日平吾という男が、安田財閥の当主を刺殺し、自身もその場で自殺した。彼の思想に影響を受ける若者が増える中、五・一五事件が起こるがクーデターは失敗。青年将校たちはますます混迷を深める社会情勢を改善すべく、「日本改造法案」を元に武装蜂起を企てる。そして2月26日にクーデターを起こすが、またもや未遂に終わってしまう。

【クレジット】

監督 吉田喜重
製作 岡田茉莉子
上野昂志
葛井欣士郎
企画 吉田喜重
葛井欣士郎
脚本 別役実
撮影 長谷川元吉
美術 内藤昭
編集 岡芳材
音楽 一柳慧
出演 三国連太郎 北一輝
松村康世 妻すず
三宅康夫 兵士A
倉野章子 その妻
菅野忠彦 西田税
飯沼慧 憲兵岩佐
内藤武敏 上司
辻萬長 朝日平吾
八木昌子 その姉